

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 16 日作成)

小委員会名	照明の省エネルギー評価小委員会		主 査 名：岩田 利枝 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)		委員長名：羽山 広文 主 査 名：明石 行生
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明の省エネルギー性能について統一的に評価する手法を検討する ・ 照明の省エネ実践例について評価、各種手法の効果を比較検証する 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：岩田利枝 (東海大学) 幹事：伊藤大輔 (ものづくり大学)、望月悦子 (千葉工業大学) 委員：市原真希 (大成建設株式会社)、加藤未佳 (金沢工業大学)、中村芳樹 (東京工業大学)、三木保弘 (建築研究所)、向健二 (パナソニック)、山口秀樹 (国土技術政策総合研究所)、小島義包 (大林組)、加藤元紀 (日建設計)、杉鉄也 (竹中工務店)、平島重敏 (旭硝子)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2016 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	シンポジウム「新世代の光環境 ヒューマンセントリックデザインと技術」 (資料名) 同上 参加者数 127 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 所属委員の各社が手掛けた最先端の建築事例について情報を共有した。 2. 過去の省エネルギー建築事例について調査した。 3. 照明の省エネルギーを評価する指標について議論した。 4. シンポジウムの開催を計画した。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 2.

2017 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>2015 年度は 3 回、2016 年度は 5 回委員会を開催し、所属委員の各社が手掛けた省エネルギーと居住者の心理・生理に対応した最新の設計事例（ヒューマンセントリックデザイン）について話題提供頂き、省エネルギー性能、光環境性能を包括的に評価する指標について議論を行った。</p> <p>また、2017/2/17 にシンポジウムを開催した。参加者 130 名で、最新の省エネルギー・ヒューマンセントリックデザイン実践事例を紹介すると共に、委員会内で調査した照明の省エネルギー技術、ヒューマンセントリックデザインに関する動向調査を報告した。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。